東京湾アクアライン
時間帯別料金 社会実験の効果

第３回東京湾アクアライン交通円滑化対策検討会資料より

東京湾アクアラインでは、土日・祝日の上り線の交通混雑を緩和するため、特定の時間帯の通行料金を変動させるＥＴＣ時間帯別料金社会実験を令和５年７月から実施しています。

社会実験ＨＰ

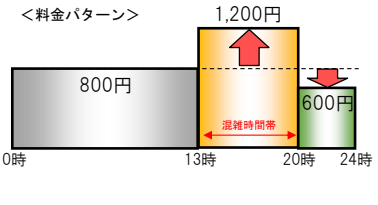
●東京湾アクアラインETC時間帯別料金社会実験の概要

○ 対象区間：アクアライン 浮島ＩＣ～木更津金田ＩＣ
上り線（木更津→川崎方面）

○ 対象期間：令和５年７月２２日（土）
～令和７年３月３１日（月）の土日・祝日
（１月２日、１月３日、振替休日を含む）

○ 対象車両：ＥＴＣ車（全車種）

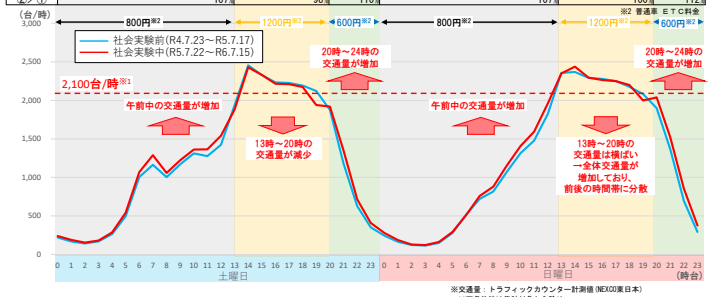
＜料金パターン＞



●東京湾アクアライン上り線の時間帯交通量

混雑していた１３時～２０時の交通量が減少し、前後の時間帯に分散！

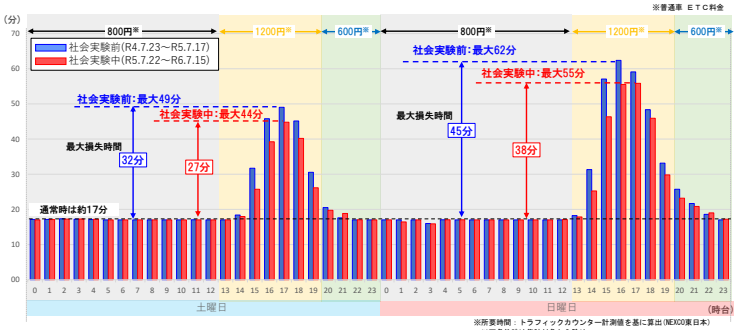
①実験前	9,800	15,500	4,000	8,800	15,800	4,300
②実験中	10,500	15,200	4,400	9,400	15,800	4,800
②／①	107%	98%	110%	107%	100%	112%



※交通量：トラフィックカウンター計測値(NEXCO東日本)
以下条件時は集計対象から除外
・通行止め及び事故・大雨（20mm/h以上）
・橋風等による規制発生日
・祝日（前年と比較できないことから）

●東京湾アクアライン上り線の通過所要時間

木更津JCTから川崎浮島JCTまでの渋滞による時間ロスが１６％減少！

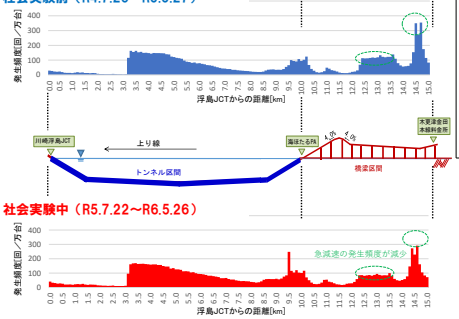


※所要時間：トラフィックカウンター計測値を基に算出(NEXCO東日本)
以下条件時は集計対象から除外
・通行止め及び事故・大雨（20mm/h以上）
・橋風等による規制発生日
・祝日（前年と比較できないことから）

●東京湾アクアライン上り線の急減速発生頻度・事故件数

木更津金田ICの合流付近の急ブレーキ回数が減少！

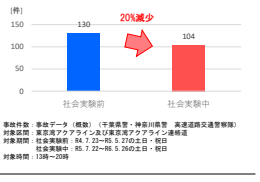
■急減速発生頻度　上り線（川崎方向）：13時台～19時台平均



※急減速回数：ETC2.0プローブデータ（令和6年は速報値）
を基に100mビンチで算出
社会実験前：令和4年の7/22～令和5年の5/27の土日の平均値（対象日数：55日）
社会実験中：令和5年の7/22～令和6年の5/26の土日の平均値（対象日数：51日）
以下条件時は集計対象から除外。集計対象日は日交通量のグラフに記載
・通行止め及び事故・大雨（20mm/h以上）
・橋風等による規制発生日
・祝日（前年と比較できないことから）

事故件数は２０％減少！

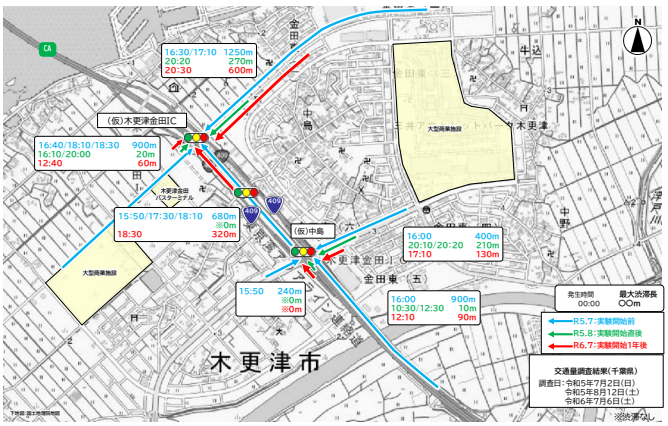
■事故件数　上り線



事故件数：事故データ（概数）（千葉県警・神奈川県警　高速道路交通警察隊）
対象区間：東京湾アクアライン及び東京湾アクアライン連絡道
対象期間：社会実験前：R4.7.22～R5.5.27の土日・祝日
社会実験中：R5.7.22～R6.5.26の土日・祝日
対象時間：13時～20時

●木更津金田ＩＣ周辺一般道の最大渋滞長

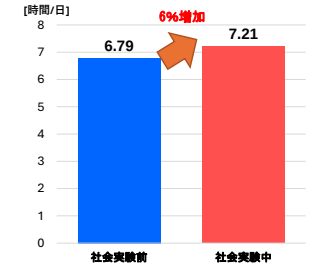
夕方の木更津金田ＩＣを先頭とした一般道の渋滞が減少！



●アクアライン利用者の滞在時間

千葉県にお越しいただいた方の滞在時間が増加！

■平均滞在時間



出典）千葉県観光政策課調べ（令和6年8月）
分析対象期間
社会実験前：令和4年7月23日～5月31日(N=27, 196)、社会実験中：令和5年7月22日～5月31日(N=54, 635)
以下条件時は集計対象から除外。集計対象日は日交通量のグラフに記載
・通行止め及び事故・大雨（20mm/h以上）
・橋風等による規制発生日
・祝日（前年と比較できないことから）
当日により方面のアクアライン利用があるお帰り「観光客」のデータ
千葉県居住者、千葉県通過者は除外
アクアライン下り線利用一上り線利用の間の時間を滞在時間と定義

●地域の取り組み